

# アジア国際子供映画祭 カンボジア国内予選の開催について (2012年8月16日)

8月16日、アジア国際子供映画祭のカンボジア国内予選が、日本カンボジア人材協力センター（CJCC）にて開催され、上映作品のうち3本が、日本で開催される本選出品作品として選出されました。同国内予選には、教育省から In The 副長官にも出席頂きました。

カンボジア国内予選は、日本国大使館が教育省及びCJCCと共催しました。今年の映画祭のテーマは「あなたにとっての命の意味」です。プノンペン市内及び近郊の高校生が作成した36作品がエントリーされました。そのうち事前審査を通った16作品が今回の国内予選で上映され、最終的に3作品が審査員団（日本国大使館樋口公使が審査委員長）により選出されました。予選会では、作品の制作者に加え、先生やその他生徒の応援により大変な盛り上がりを見せました。また、表彰式では、上位3作品と審査員特別賞の3作品が表彰されました。



アジア国際子供映画祭は2007年に鹿児島県指宿市で第一回大会が開催され、その後毎年日本で開催されています。2009年からはメコン地域諸国（カンボジア、タイ、ラオス、ベトナム、ミャンマー）の学生が同映画祭に招待されています。

今年の映画祭においては、カンボジア国内予選の上位3作品を作成した9名の学生が、日本政府が提供するキズナ強化プロジェクトにより日本に招聘され、11の国と地域（日本、中国、韓国、モンゴル、台湾、マレーシア、メコン地域諸国）からの参加者らと共に11月に兵庫県南あわじ市で開催される本選に参加します。

カンボジアの学生が日本での映画祭本選で優秀な成績を収めるとともに、他国からの参加者らとの友好の絆を深めることを期待しています。

(カンボジア国内予選会審査員)

- 1- H.E. Mr. In The, Under Secretary of State, the Ministry of Education, Youth and Sports
- 2- Mr. Yoshihiro Higuchi, Minister, the Embassy of Japan in Cambodia
- 3- Mr. Koem Oeurn, Director, the Cambodia-Japan Cooperation Center
- 4- Mr. Ear Chary, Secretary General, the Japan Alumni of Cambodia (JAC)
- 5- Cheap Sovichea, Director, the Cambodia Film Commission
- 6- Ms. Junko Kanehiro, Representative of TVK and JICA Senior Volunteer

(カンボジア国内予選上位 3 作品)

No.	High School	Name of Student	Title of Movies
1	Wath Koh High School	Mr. HENG SOPHANITH	Happiness of Life
		Mr. HENG LEANG	
		Mr. CHHORN BANNDOL	
2	Toul Tompoung High School	Ms. SOM BORMEY	The Meaning of Life
		Ms. HENG SOMPHOSPHEAK	
		Mr. BO SYLY	
3	Hun Sen Serei Pheap High School	Mr. THO CHANDARARITH	Life
		Ms. DY SUN LEANG	
		Ms. CHEA GECH HEANG	